

第 2 回代表者会議 議事録

2015 年 10 月 18 日（日）幸松第二公民館 和室

出席

父母 7 名（6 クラブ）

事務局 4 名

進行：金田

記録：山岸

1. 設備アンケート集計結果説明（H24 調査との比較）

初めて市が洗濯機を設置。一方で空き教室のため設置できないクラブも。

今までは、洗濯機置き場は作っていたが設置は父母会だった。

テレビ（DVD 等の観賞用）も、5 年前くらいまでは父母会だったが、市が買ってくれるようになった。

（宮川）今年度から 2 教室になって、市が洗濯機を設置。

（正善）二層式洗濯機が水漏れ。今訴えれば対応してもらえるかも？

（備後）冷蔵庫を買ってくれる約束・・・未だ実現せず。

Q:社協と書いてあるのは？

A:少額設備は社協の管轄になったとの事。

Q:「買ってください」と父母から言わなければいけないのか？

A:増設の機会などで設置しているケースが多いかも。

まず指導員から現場の声として訴え、動かなければ父母が訴える必要。

※前回会議で八木崎から質問のあったコピー機のリースについて、上沖から情報提供あり。

2. 対市要望書について

保育課より「市への要望と社協への要望を分けて欲しい」と言われ、2 つに分けた。

<希望者全員の入室>

新条例が施行され、6 年生までの入室が可能になったが、依然 4 クラブで高学年が却下。

（立野、内牧、川辺、武里西・・・うち立野と内牧は増設計画）

<指導員の配置基準遵守>

従来、少人数でも複数配置、25 人毎に 1 名加配が原則。

条例では、少人数の場合「1 名は補助員で OK」となっている。これは保育レベルの後退なので、従来の基準を守る様に要望。

八木崎分割で 3 クラブになり、2 名、1 名、2 名の配置になっている。

<保育時間の延長>

要望は多いが、半数を超えるほどではない（ニーズ調査）。

更に増えて行けば延長の可能性はあるが、市は保育料見直しも示唆。

<保育料の引き下げ>

公設学童としては春日部は高め。（民間はもっと高い）

高学年や兄弟減額を要望する。

< 合同保育の実施 >

ニーズに合わせて実施する様、要望。  
指導員不足も絡み、難しい問題。

< 指導員の研修機会強化 >

県外は認められず、県内も年 1 回だけ。  
県内でも県と県連主催の研修は 4 回ある（北関東での研修も含めると 5 回）が、一人の指導員が参加している平均回数は 1 回未満。  
社協は「計画的に実施している」としている内部での研修も、回数や内容について父母への説明はしていない。

< 指導員の待遇改善 >

長く務めている指導員が少ない。  
全 70 名あまりのうち、13 年前（公設化）から居る指導員は 10 名以下。10 年選手はほとんどおらず、2~3 年がほとんど。夏休み後に新人 5 人採用。（それだけ激しく入れ替わっている）

< 運営基準に則した設備の設置 >

県の運営基準に列挙されている「必要設備」が設置されていないクラブが多い。  
（洗濯機、コピー機、物置など）

< 運営連絡会議の改善 >

初めての父母が多く、「指導員の資格は？」などの質問が出る。  
本来社協が資料を見せて説明し、それを参加者が各クラブに持ち帰って伝えられる様にすべき。  
予算の使い道や、指導員の研修実績、採用や離職状況、配置なども説明すべき。

追加の要望や意見などがあれば 11 月初旬までに事務局まで連絡を。

### 3. 自由討議

（宮川）

もちつきを例年やっていたが、排水溝に詰まって学校からストップがかかった。  
正月らしい行事を何か別の形でやろうと思う。

（豊野）

毎年もちつきをやっていたが、親世代が若返り、「やらなくてもいいんじゃないか？」という意見が出てきた。学童祭りにも消極的。  
でも、もちつきはやる。

（事務）

昔は、新入生の説明会の時にもちつきをやって、新入生や父母にも見てもらった。  
それを見て父母会に参加してくれる親もいた。

（八木崎）

社協アンケート結果を見ると、父母会の負担感を訴える例が多いのでショック。

（事務）

大人にアンケートを取るとそうなる。子どもに聞くべき「何をやりたい？何が楽しかった？」

子どもは行事を楽しみにしている。

(八木崎)

父母説明会の時に、連絡会から父母会の良さについて説明してもらうのが良いのではないかと？

(八木崎)

子どもの工作などの材料も、父母会費で賄っているのを知ってびっくり。

(事務)

教材費はあるが、年間子ども 1 人当たり 3000 円しかない。事務用品や、縄跳びやサッカーボールなども全てこのお金で買っているため、非常に少ない。

(幸松)

1 年生で初めてで何もわからなかった。

座禅は楽しかったと言っている。

学童まつりは子どもは行きたいと言っているが、親は「手伝い」が面倒な感じ。

ららガーデンに遠足した（映画を見てお弁当食べる）。

もちつきは無くなってしばらくたっている様です。

(正善)

もちつきはずっと続けているが、「不衛生」との意見も出た。

行事係の親に権限を譲って任せているので、今のところ続いている。

子どもに経験させる事を優先して、いろいろ行事をやってあげたい。

指導員が面白い事を計画して次々にやってくれるので、父母も協力している。

1 1 月 2 日にみかん狩りに行く（旧庄和町）。父母も行ける人が引率に協力。

(備後)

前回の運営連絡会議でいろいろ要望を言った結果、新人の指導員が配属されたが、3 人中 2 人が新人なので、相変わらず大変。

行事は父母主催と指導員主催でやっているが、参加と不参加がはっきり分かれてしまい、役員負担に対する不満感がある。

出てきてくれない方にどう対応するのか、わからない。

(事務)

会長の時、「意見があれば直接言ってください」と言って、来ない人は無視した。

「父母会規約」が使える時は使った。

「出てこない人」の意見を聞くより、「出てきている人」の意見を聞き、子どもたちに何がしてあげられるかを考えたい。

(事務)

「何で忙しいのに」という声もあるが、指導員は努力の結果を評価してもらう事で支えになっている。

指導員は社協の職員なので、上司に何か訴えてもあまり聞いてもらえない。

父母は利用者なので、父母の声は影響が大きい。気になる事にはぜひ声を上げてください。

以上